



2 つ目のノードを追加する場合のみ使用してください。初期の展開を行う場合は『ztC Edge 200i/250i システム: 単一ノード構成のシステムを展開する』を参照してください。

ユーザが提供するコンポーネント



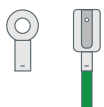
1/8 インチ
マイナス
ドライバー



No. 2 プラス
ドライバー



ネットワーク
ケーブル



シグナル グランド線
およびコネクタ



ネットワークに
接続された PC または
ラップトップ

node0 で既に静的な IP アドレスを使用している場合、ネットワーク管理者に連絡して node1 に静的な IP アドレスを割り当ててください。そうでない場合は DHCP で自動的に割り当てられます。その他のネットワーク設定は、参照用に必要となる場合のみ入力します。

システムの IP アドレス
(静的アドレスが必要) -----

node0 IP アドレス -----

(新しい) node1 IP アドレス -----

ゲートウェイアドレス -----

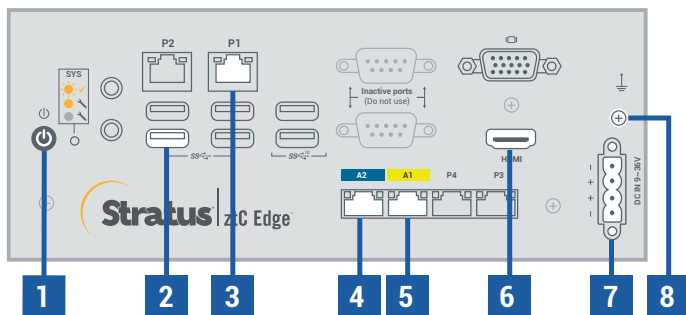
ネットワーク マスク -----

DNS サーバ -----

(システムおよびノードの IP アドレスは同じサブネット上になければなりません。)

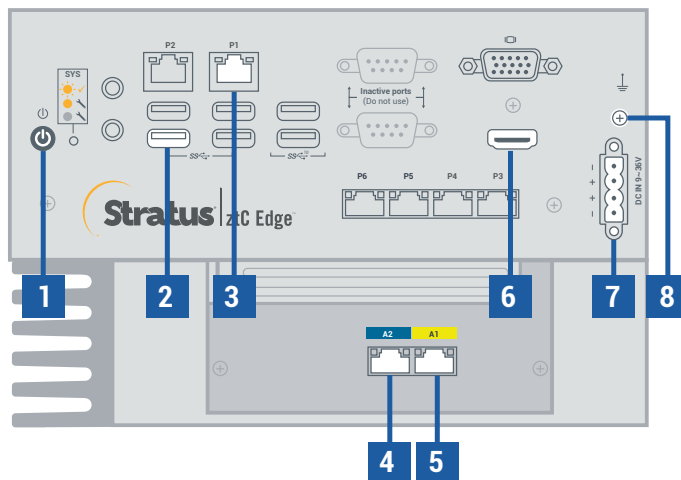
システムの概要

ztC Edge 200i システム



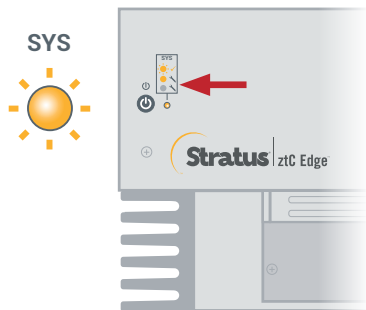
- 1. 電源ボタン
- 2. USB ポート (キーボード)
- 3. P1 ポート (LAN)
- 4. A2 ポート (青で示されているネットワーク)
- 5. A1 ポート (黄色で示されているネットワーク)
- 6. HDMI ポート (モニタ)
- 7. 電源コネクタ
- 8. シグナル グランド コネクタ

ztC Edge 250i システム

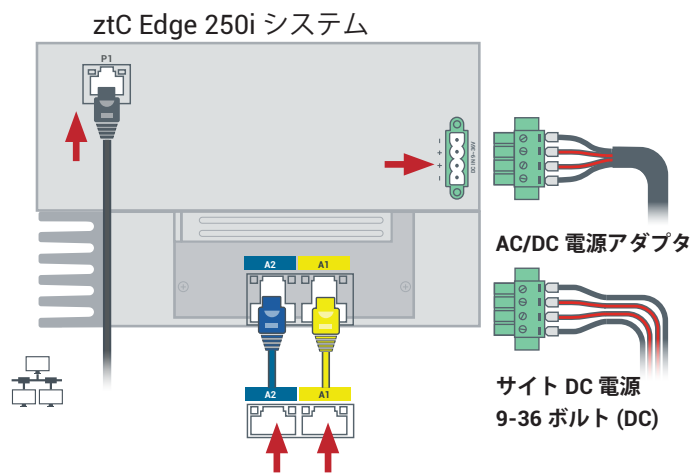
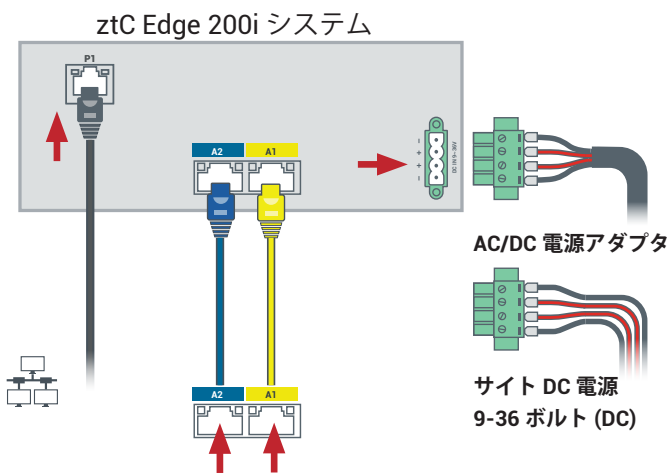


ztC Edge のリリース ノートとマニュアルについては、<http://ztcedgedoc.stratus.com> にアクセスしてください。ナレッジ ベース記事やソフトウェア ダウンロードを含むその他の ztC Edge 自己解決用リソースについては、Stratus カスタマ サービス サイト (<https://www.stratus.com/jp/services-support/customer-support/>) にアクセスしてください。

1 最初のノードが実行されていて正常である (SYS LED が点滅している) ことを確認します。最初のノードにネットワーク接続している PC またはラップトップで ztC Edge コンソールに接続し、**【ダッシュボード】** ページに未解決の問題がないことを示す緑のチェック マークが表示されていることを確認します。(注: ステップ 6 でノードが同期されるまでは VM のパフォーマンスが低下するため、計画されているメンテナンス期間まで待ってから手順を行うことを検討してください。)



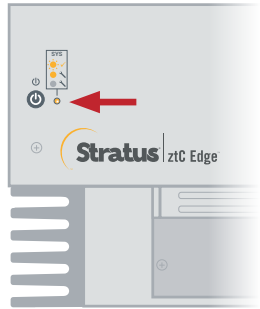
2 ノードの P1 ポートを既存の LAN (最初のノード上の P1 と同じサブネット) に接続し、青で示されているネットワークと黄色で示されているネットワーク ケーブルで最初のノードと 2 つ目のノード (A2 と A1 ポート) を接続します。2 つ目のノードに電源を接続し、電源がオンになることを確認します。



3 最初のノードに接続している ztC Edge コンソールで、**【基本設定】** を開いて **【可用性】** をクリックし、**【+】** (プラス記号) をクリックして 2 つ目のノードを追加します。ノードの追加ウィザードを完了し、ノードをペアリングしてシステムを冗長化します。



4 ペアリングの完了には最大で 30 分かかります。その後、2 つ目のノードの SYS LED が点滅して正常な状態であることが示され、ノードの追加ウィザードの各タブに緑色のチェックマークが表示されてペアリングが成功したことを確認できます。



ステップ 1: 準備 ステップ 2: 検出 ステップ 3: ペアリング **ステップ 4: 完了**

1 つ目のノード (node0) が 2 つ目のノード (node1) と冗長構成で正常にペアリングされました。

ztC Edge node0
 モデル: ztC Edge NNNi
 シリアル番号: Ennnnnnnnnnnn
 SRL バージョン: n.n.n-rrr

ztC Edge node1
 モデル: ztC Edge NNNi
 シリアル番号: Ennnnnnnnnnnn
 SRL バージョン: n.n.n-rrr

注: ノードは冗長構成でペアリングされていますが、VM が同期されるまで、アプリケーションとデータの保護は完全ではありません。忘れずに [仮想マシン] ページで VM の状態を確認してください。

[閉じる] ボタンをクリックすると、ztC Edge コンソールがリフレッシュされ、新しいデュアルノード構成が表示されます。

閉じる

5 ztC Edge コンソールで **[基本設定]** ページを開き、**[IP 構成]** をクリックして設定を確認します。必要に応じて、2 番目のノード (**node1**) の静的 IP アドレスを入力し、**[保存]** をクリックします。

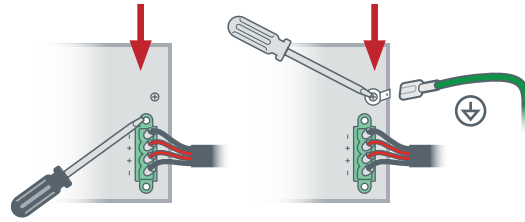
6 既存の VM の同期には数時間かかることがあります。システムが同期され、正常である場合、未解決の問題がないことを示す緑のチェックマークが **[ダッシュボード]** ページに表示されます。ztC Edge 250i システムのみ: 同期が完了した後、オンライン ヘルプの説明に従って各 VM の HA/FT 設定を更新することを検討してください。

推奨事項

システムを使用する前に、最新のソフトウェアを実行していることを確認してください。
リリースノートで詳細を参照し、ソフトウェアを
<https://www.stratus.com/jp/services-support/downloads/> からダウンロードします。

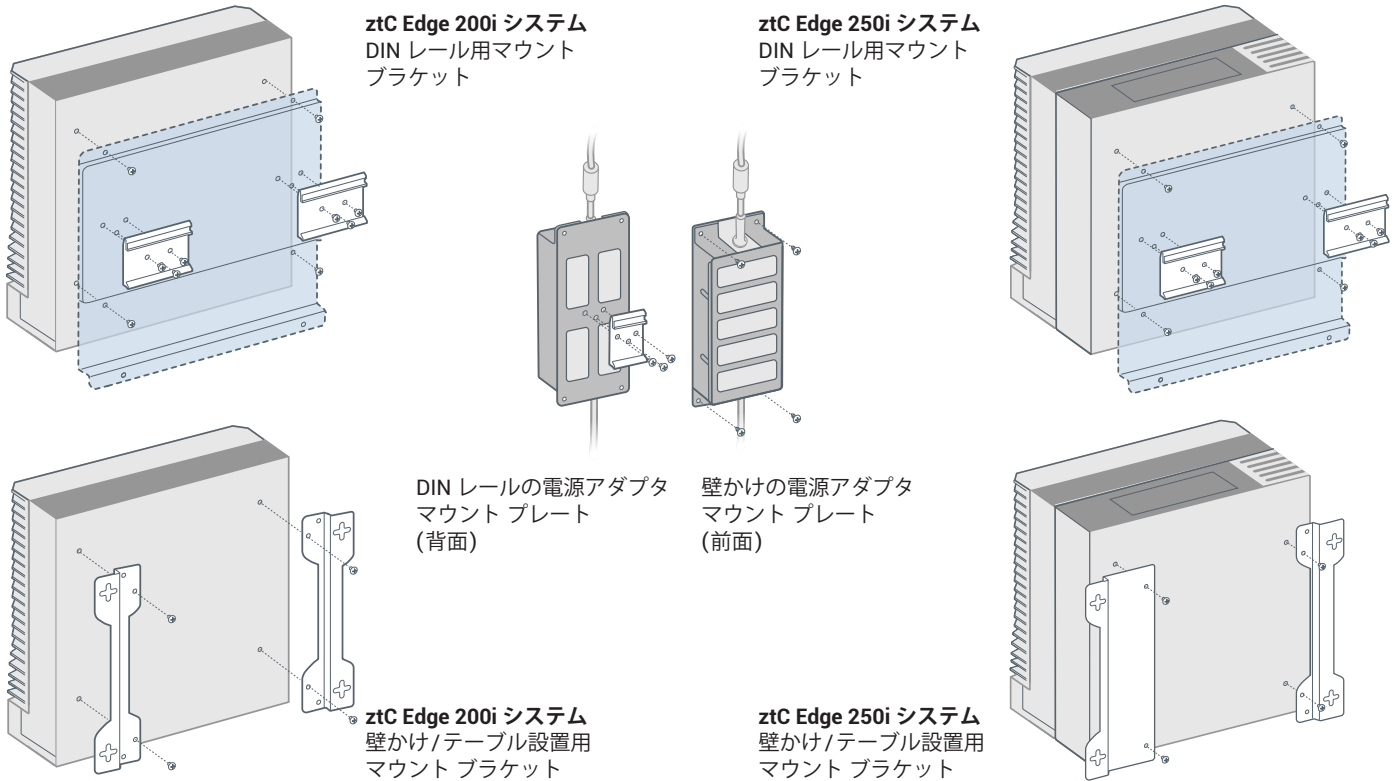
推奨事項

1/8 インチ マイナス ドライバを使って電源コネクタの拘束ねじを締めます。No. 2 プラス ドライバを使ってユーザーが提供するシグナル グランド線を固定します。



オプション

マウント キットを注文した場合、No. 2 プラス ドライバを使って DIN レール用または壁かけ/テーブル用マウントをノードに取り付けます。ノードを DIN レールまたは壁に設置する場合は、ポートが下向きになるように取り付けます。その他のマウント オプションについては、表紙のリンクからアクセスできるドキュメントを参照してください。



パーツ番号: R018Z-01 | 発行日: 2023 年 10 月

リリース番号: Stratus Redundant Linux リリース 3.0.0.0

仕様と説明は概要であり、通知なしに変更される場合があります。

Stratus、Stratus ロゴ、Stratus ztC、Stratus Technologies ロゴ、Stratus 24x7 ロゴ、および Stratus ztC Edge は、Stratus Technologies Ireland, Ltd. の商標です。

©2023 Stratus Technologies Ireland, Ltd. All rights reserved.